



社会福祉法人こぼと会
あおぞら保育園
2025 年 9 月 1 日発行

9月の予定

日	曜日	行事予定	対象
1	月	引き取り訓練	全クラス
9	火	誕生会	各クラス
27	土	保護者懇談会	全クラス

おたんじょうび おめでとう



とても暑い夏でした。まだ終結をしていませんが、旅行の際も一苦労されたことと思います。

保育園でも熱中症指標を確認しながら水遊び、プールを楽しみ、いつもと変わらぬ夏を過ごしてきました。いや、それ以上にお部屋での遊びが子どもたちの日々の成長を止めることなく進化させていることに改めて気づかせられる夏でもありました。

保育の中身

私ごとになりますが、7月の初旬に初孫が誕生しました。ありがたいことに、我が家で産後の日立ちを送ることになり、毎日が新鮮な日々を送っております。

孫はかわいいのは当たり前なのですが、保育の成果が我が家でも起きているのを実感するのです。保育園での成果をもとに孫との日常の中に落とし込むことで、わずか2か月の赤ちゃんではあるものの、満たされることの大切さをひしひしと感じております。

…0歳からの継続した保育…

つい、上段にも書いた“赤ちゃん”という言葉、私たちの中では何もできない存在として、勝手に決めつけてしまいがちです。0歳児クラスという名称も同様、大人側の意識に相当程度言葉が影響を与えてしまうことを今まで経験してきました。

保育の実践を高めていくにつけ、この言葉の魔力に負けない力をつけようと職員とともに研鑽してきたのですが、子どもの意思を確認する、気持ちを代弁する、共有する行動の徹底を図ることが、保育の流れを大きく変えていく重要な要素であることを確信するようになりました。「赤ちゃん」ではなく「一人の人間」として対応することをいの一番においてきました。

発達上、まだ言葉でのコミュニケーションが取れなくても、ベビーサインを通したり、これからの行動や、今行っていることの説明をしたり、相手の目を見て語りかけていくことを通して子どもたちの満たされた感情が、その後の行動を大きく変容させていくことを実感したのです。

冒頭に書いた、初孫の対応もまさに、園での実践を取り込んでみたことになります。子どもの行動に言葉をのせる、感情を説明することが、たった2か月の子どもの行動に影響を与えていくことが目の前で起こっているのです。感動しかありません。保育の中身共有させていただきたいと切に願うばかりです。

保護者懇談会 9月28日(土)

0～2歳児	時間は後日お伝えします。	各クラス
3～5歳児	時間は後日お伝えします。	各クラス
今回、全体会はありません。		